



豊前神楽

長野県の野沢温泉村の道祖神祭りをご存知だろうか？

毎年1月に行われるこの祭りでは会場の半分近くを海外からの観光客で溢れ返らせている。人口30000人余りのこの村。わずか数日間の祭りの開催期間中に20000人を超える外国人が訪れるという。この祭りの海外での認知の拡大から、村にあるスキー場や温泉などの既存の観光資源が注目され、今では年間2万人を超える外国人観光客が訪れる村として観光産業で成功を収めた。

道祖神祭りが「ファイヤーフェスティバル」として世界に類を見ない祭りとの認識で、YouTubeなどを通じ拡散され認知されたことが成功の鍵であったと考えられる。

そんな中、私が注目するのが福岡県豊前市。プロデューサーする『HANABIプロジェクト』でもPR事業に関わらせて頂いているこの街。昨年の重要無形民俗文化財に指定された「豊前神楽」が数カ月に渡るシーズン中、市内60カ所以上で神事として執り行われる。また若手を中心と

## 『地域エンタメが生み出すクールジャパン』

文 岸本公平 text by Kohei Kishimoto

した有志発信の神事をエンタメとして見せる「若菜」が海外公演などで喝采を浴び、その認知の拡大を図っている。更に独自性に富んだPRビデオの制作などで、国内だけでなく海外へのPRにも取り組んでいる。

この様な取り組みは日本のエンタメを世界に発信するにあたり、これまで以上の可能性を秘めたクールジャパンのキラークンテンツとして注目すべきではないだろうか？

認知されていない地域エンタメが地方には多く存在する。地方創生が推し進められる中、全国各地から情報発信はされるが、国内での差別化は厳しくなかなか注目を浴びることが難しいと考えてしまうかもしれない。しかし全く文化風習の異なる海外からの注目を浴びることは野沢温泉村の実例が示す様に不可能ではない。また豊前市の取り組みの様な海外を意識した情報発信で、偶然ではなく必然のインパウンドの獲得もできるのではないだろうか。更にその情報がSNSなどの個人メディアを通じて発信されることで、国内でも注目をされなかつた地域がエンタメをハブとして世界中から注目を集め、クールジャパンの一翼を担うことが出来るのではないだろうか。

### Profile

株式会社NEWTRAL代表取締役  
HANABIプロジェクトプロデューサー  
福岡県出身。日本大学中退後、テレビ番組制作会社入社。その後ディレクター、プロデューサーなどを経て、30歳の時株式会社NEWTRALを設立。メディアで学んだ企画やプロデュースの視点を生かし、企業のコンサルティングはもとより、地方創生事業やクールジャパン事業に取り組む。

